

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に使用者が中程度の障害、軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。
- 枠固定金具の調整範囲（調整幅7mm）を超える開口部については必ず柱・間柱・まぐさを入れ調整範囲を満たすようにしてください。枠・本体が脱落するおそれがあります。
- 枠固定金具が柱に固定されていることを確認してください。固定ねじの締め忘れは枠・本体の脱落の原因となります。
- 丁番固定用のねじの締め忘れ・ゆるみなどは本体の脱落の原因となります。必ずガタツキがないように固定してください。

■施工上のお願い

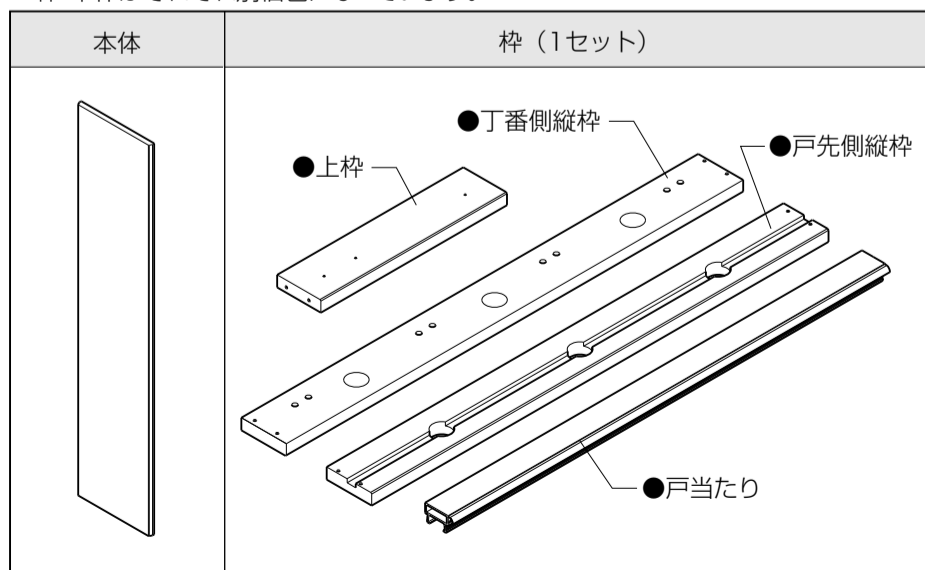
- 丁番3枚吊り、4枚吊りの本体は、最初に中間の丁番を取付け、次に端部の丁番を取付けてください。又、本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時には、必ず接着剤を併用してください。
- かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。
- かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現地手配」と記されている場合は除きます。）
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、必ずすき間をつくって納めてください。縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整してすき間をなくし、内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合は、かい木を入れてください。上枠とまぐさのすき間は、必ずかい木を入れてください。
- 建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。
やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 運搬・加工の際は、傷付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。反り・ねじれの原因となります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・傷などによる交換はできません。）
- 下枠の納め方に応じて縦枠を切断してください。

■縦枠の切断

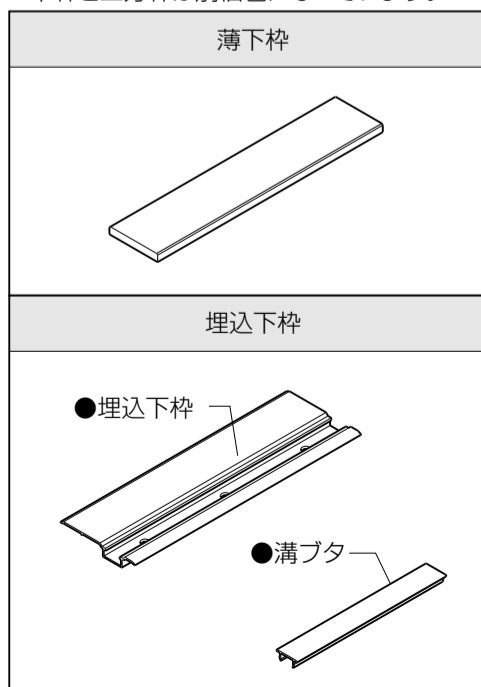
薄下枠	切断不要
埋込下枠	切断(12mm)

■各部の名称

※枠・本体はそれぞれ別梱包になっています。



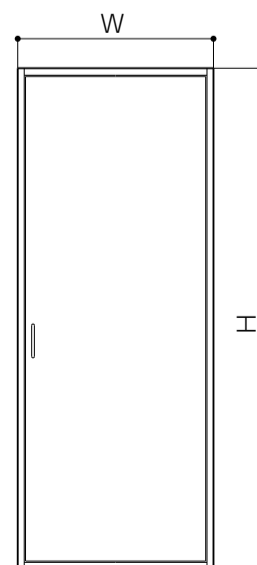
※下枠と三方枠は別梱包になっています。



■開口部の作成

- 開口部を作成します。
※開口部寸法は下記寸法で作成願います。

開口H方向:H+5mm
開口W方向:W+5mm





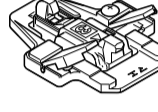


■部品セット一覧

■本体部品セット

部品名称	把手	把手取付けねじ トラス小ねじ M4×35	丁番カップ (WCB・WBB以外)	丁番カップ(ねじ止め) (WCB・WBB専用)
呼称				
0418	1	2	3	
0818 0420・0820	1	2	4	

■枠部品セット

部品名称	皿小ねじ M4×50 (上枠・縦枠組立て用)	皿タッピンねじ φ4×50 (上枠躯体取付け用)	ナベタッピン ねじφ4×40(枠 固定金具取付け 用)	穴かくし キャップ	丁番座
呼称					
0418・0420	4	※6	6	3	3(0420は4)
0818・0820	4	※7	6	3	4

※予備用4本含む

■下枠部品セット

下枠種類	皿小ねじ M4×50 (下枠・縦枠組立て用)	皿タッピンねじ φ3.5×20 (枠取付け用)	縦枠下部ピース	縦枠下部ピース 取付け用 皿タッピンねじ 1種φ4×20
薄下枠	4	—	—	—
埋込下枠	—	2	2	2

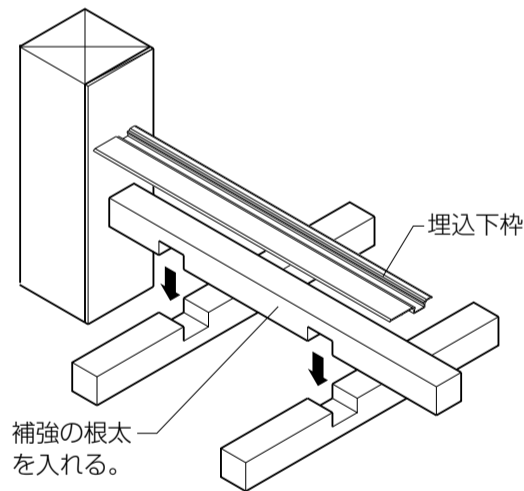
※戸当り・戸当り取付けねじは使用しません。

■床の張り方

〔床先張り(枠後付け)の場合〕

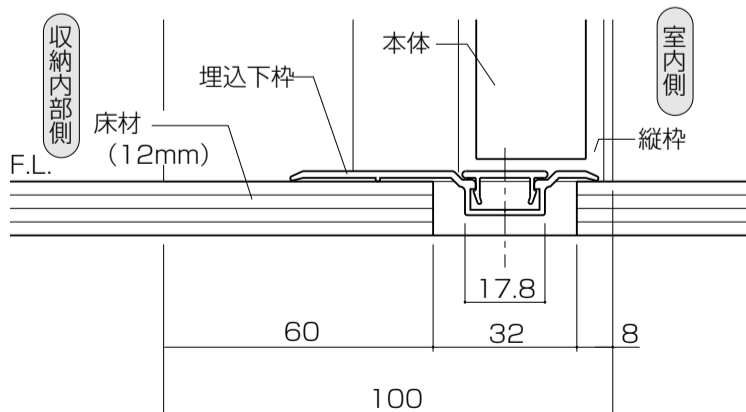
①埋込下枠下地の確認

①枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は右図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



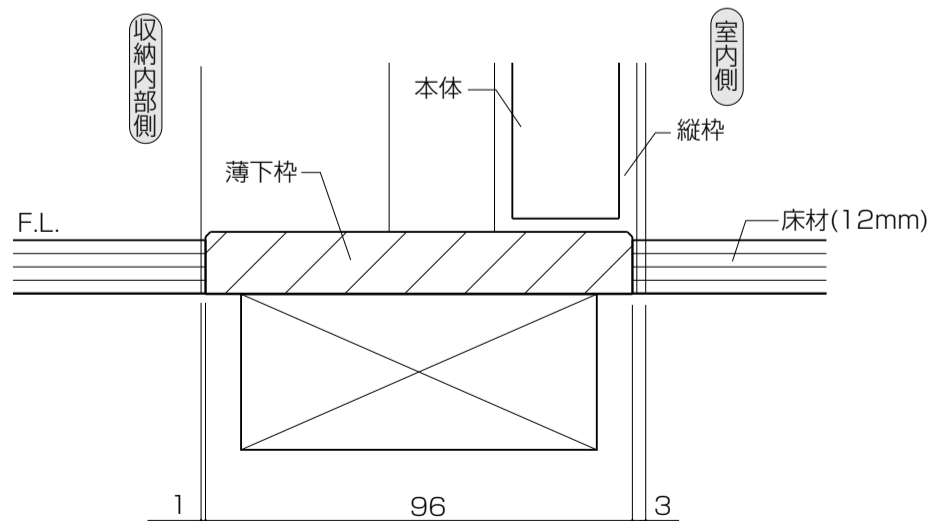
②床張り位置(床の張込み)

①下図の位置に32mm(最小開口25mm)あけて床材を張ってください。



〔床後張り(枠先付け)の場合〕

①枠の取付け後、縦枠・薄下枠に沿って床材を張ってください。



お願い

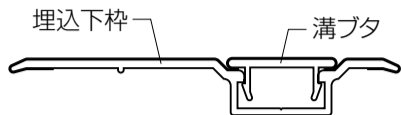
※床材は必ず図の位置に張込んでください。床材の開口寸法が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

■取付け詳細

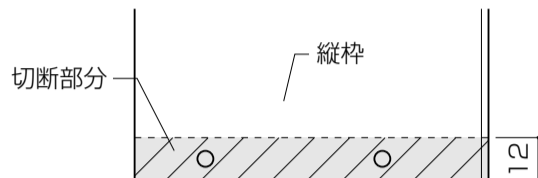
1 枠の組立て

〔床先張り(枠後付け)の場合〕

※埋込下枠セットを使用してください。

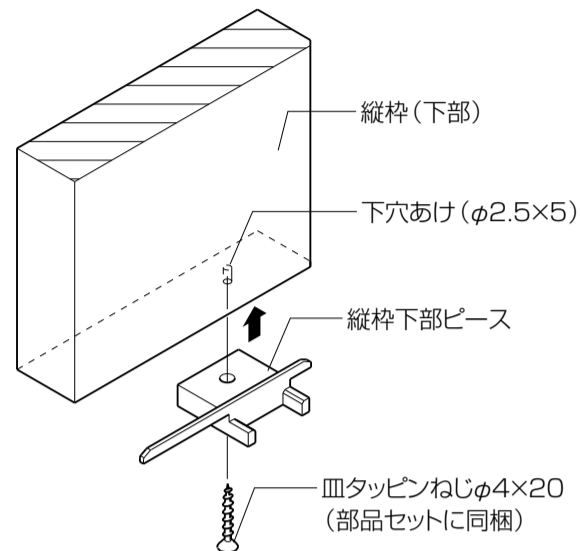


①縦枠斜線部を切断します。



●切断寸法(12mm)は、H18の場合、床上面(F.L)から上枠上端までの寸法を1823mm(H20=2023mm.)にする場合を示します。
※現場の納まりによって加工寸法を決めてください。

②縦枠に縦枠下部ピースをねじ(皿タッピンねじφ4×20)で固定します。縦枠に下穴(φ2.5×5)をあける時は、取付け説明書に載せてある型紙を使用して位置出しをすると簡単にあけることができます。



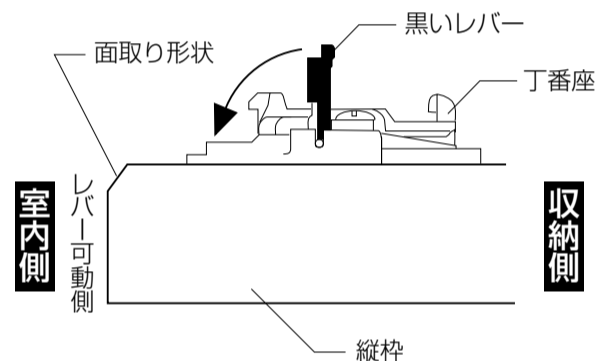
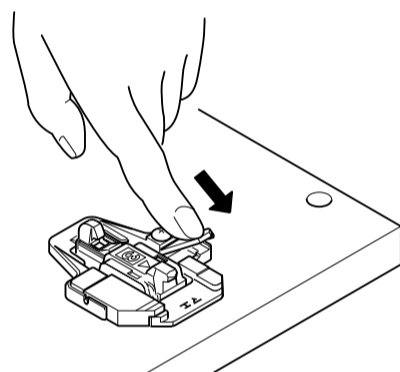
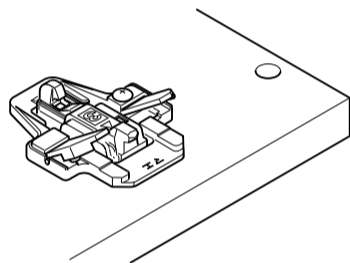
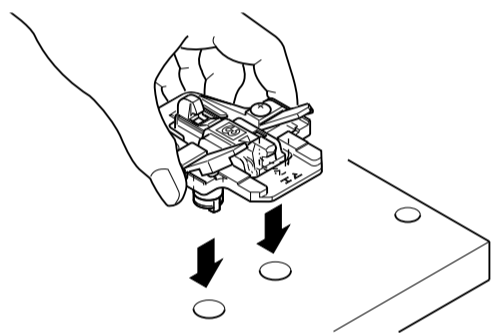
③縦枠に丁番座を取付けます。

縦枠に丁番座を差込みます。

丁番座と縦枠の間にすき間がないことを確認してください。

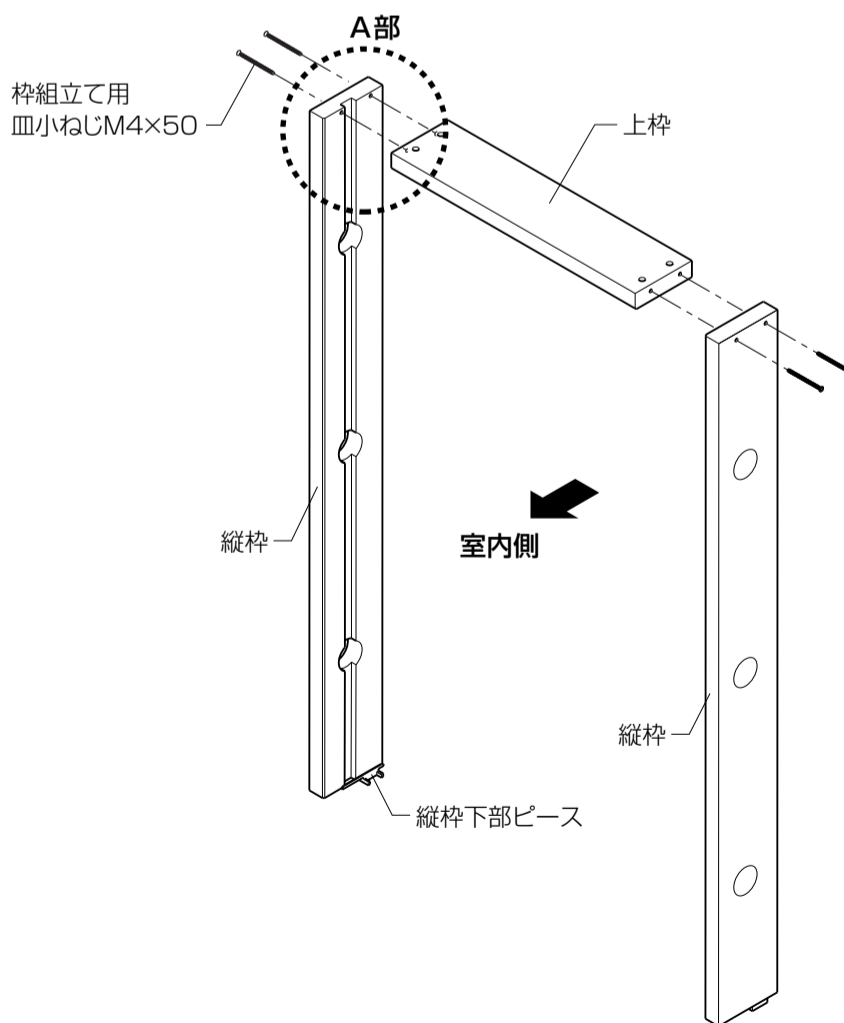
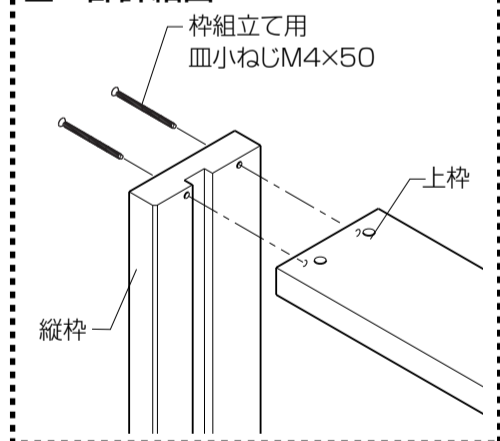
黒いレバーをおろして丁番座を固定します。

※丁番座の向きは下図を参照し間違いのないようにしてください。



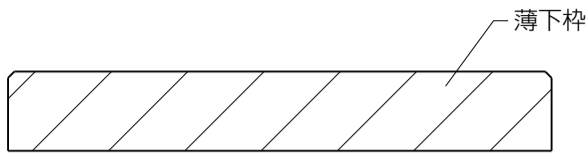
④上枠と縦枠を枠組立て用皿小ねじM4×50で固定します。

■A部詳細図

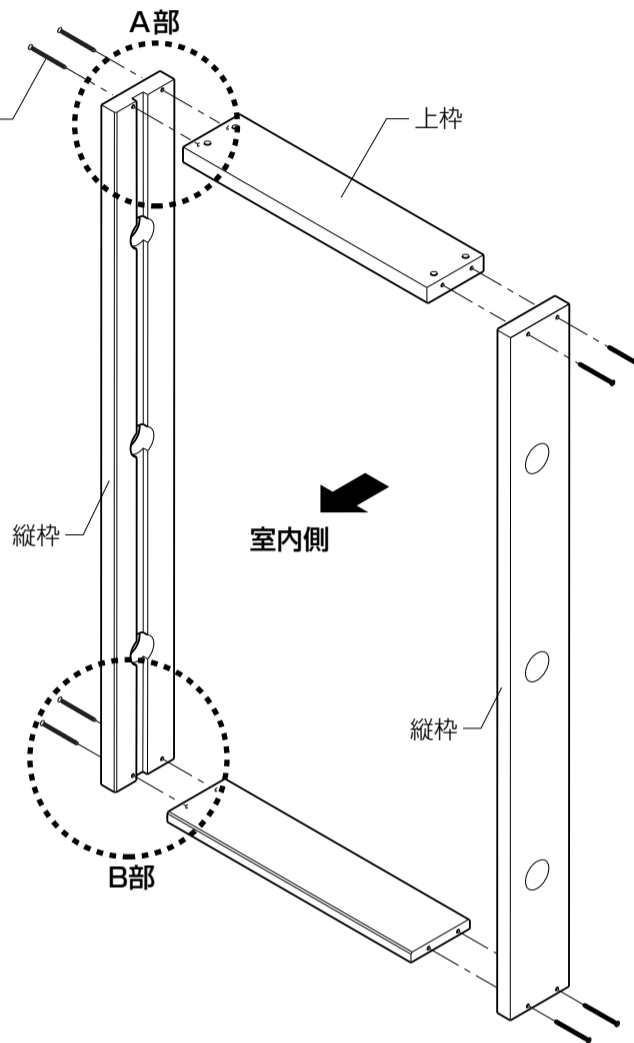
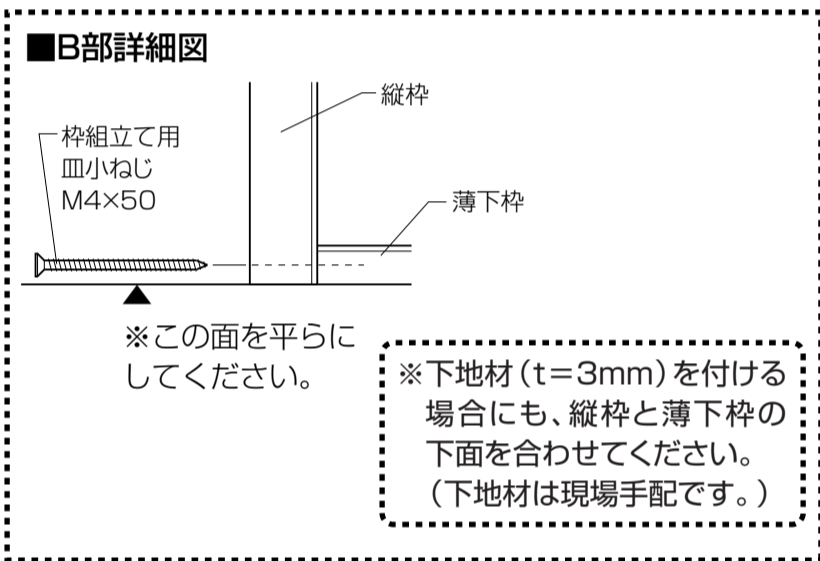
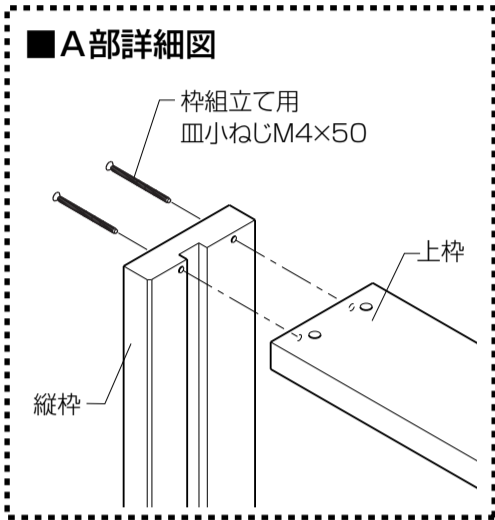


【床後張り(枠先付け)の場合】

※薄下枠セットを使用してください。

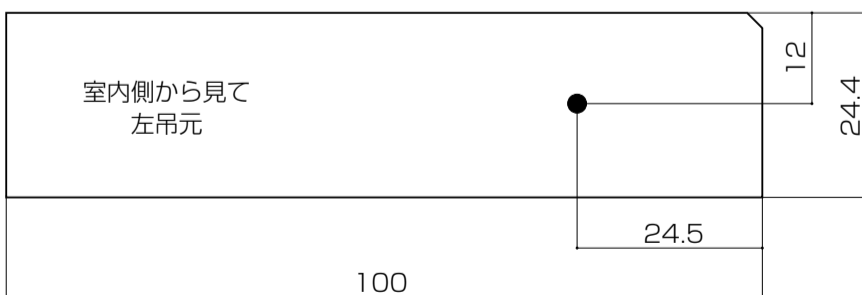
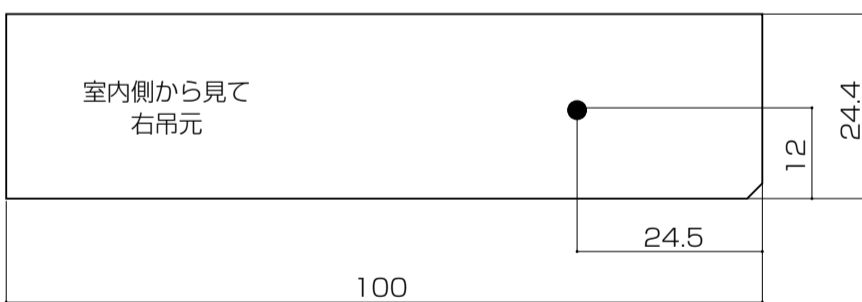


①上枠・薄下枠と縦枠を枠組立て用小ねじM4×50で固定します。

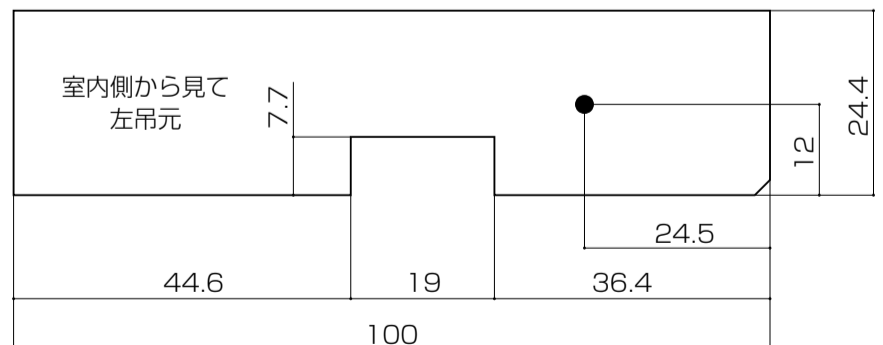
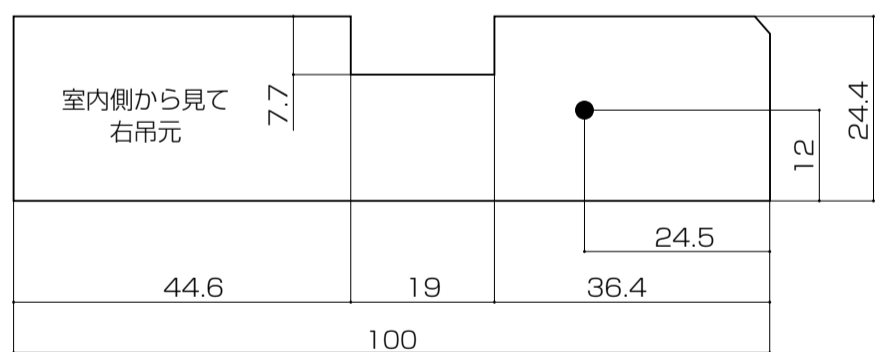


■縦枠下部ピース取付け穴加工用型紙

●丁番側縦枠 (下穴φ2.5×5)

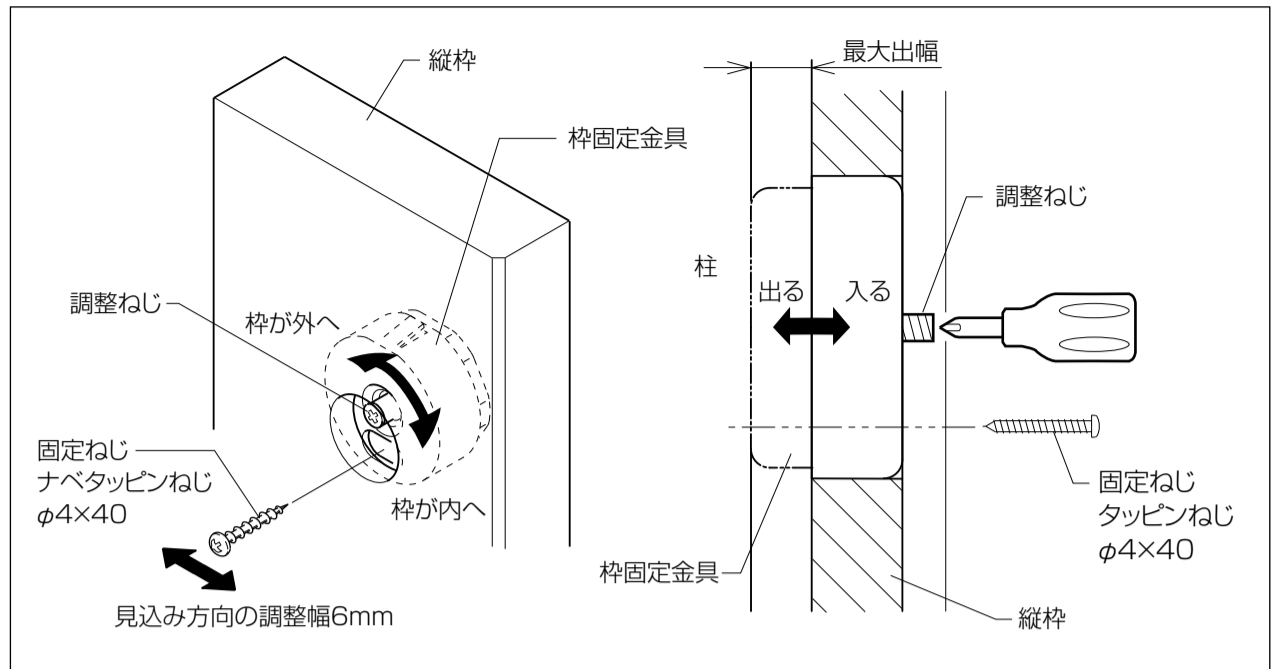


●戸当たり部材取付け側縦枠 (下穴φ2.5×5)



② 枠の取付け

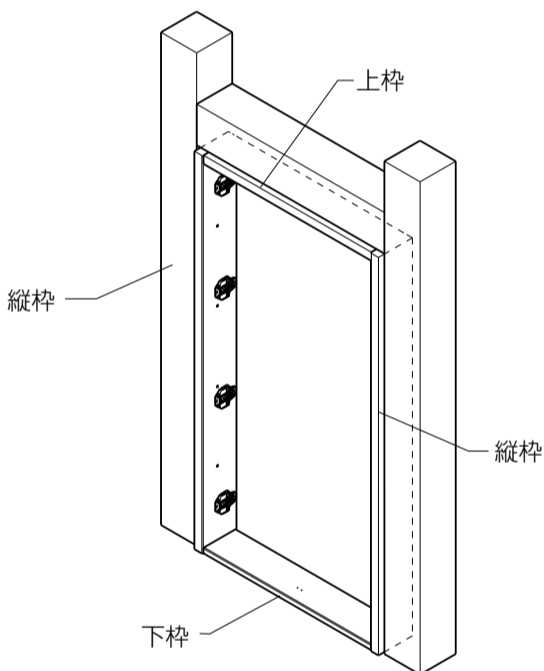
- ① 縦枠に取付けられている枠固定金具（縦枠に3個取付け）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- ② 枠の垂直を確認してください。
- ③ 固定ねじ（なべタッピンねじφ4×40）を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
- ④ 枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじを緩め、枠を動かします。（奥行方向の調整幅は6mmです。）調整後、ねじを固定してください。
- ⑤ 枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
- ⑥ 再度、枠の垂直を確認してください。
- ⑦ 上枠は、かい木を入れて水平になるように調整した後、固定ねじ（皿タッピンねじφ4×50）で締め付けてください。



お願い

- ※ 枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。
- ※ 必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

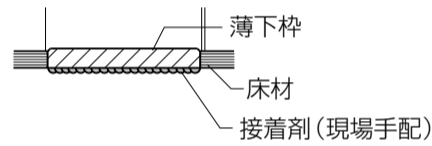
- ⑧ 下枠を躯体へ固定します。



〔薄下枠の場合〕

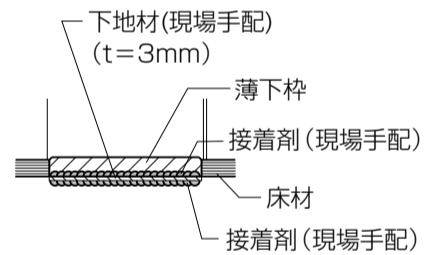
- 床材厚さ12mm

※ 必ず薄下枠に接着剤を付け、躯体に固定してください。



- 床材厚さ15mm

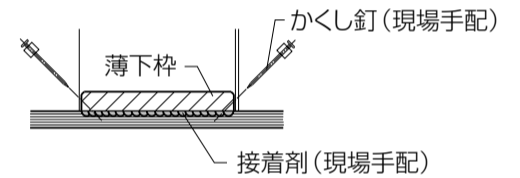
※ 必ず薄下枠と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。



〔床先張り (枠後付け) の場合〕

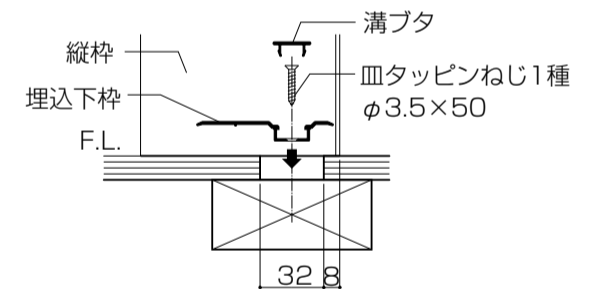
- 床材厚さ15mm

※ 薄下枠は接着剤を塗布し、かくし釘等で固定します。

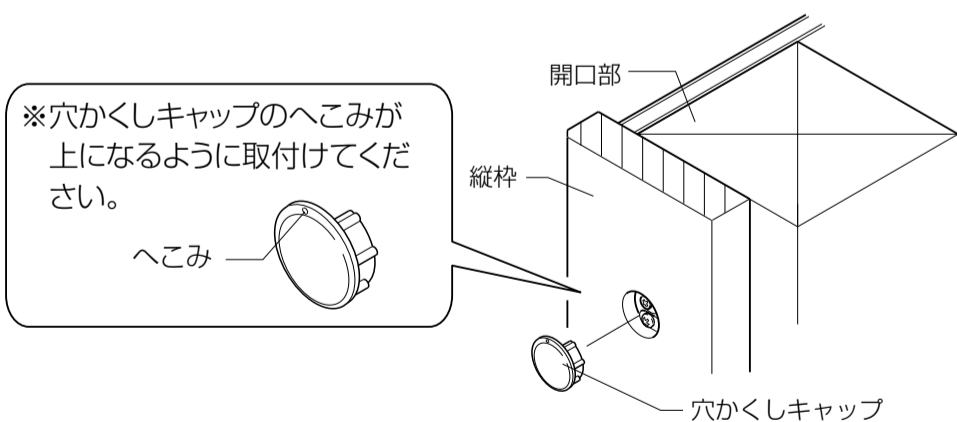


〔埋込下枠の場合〕

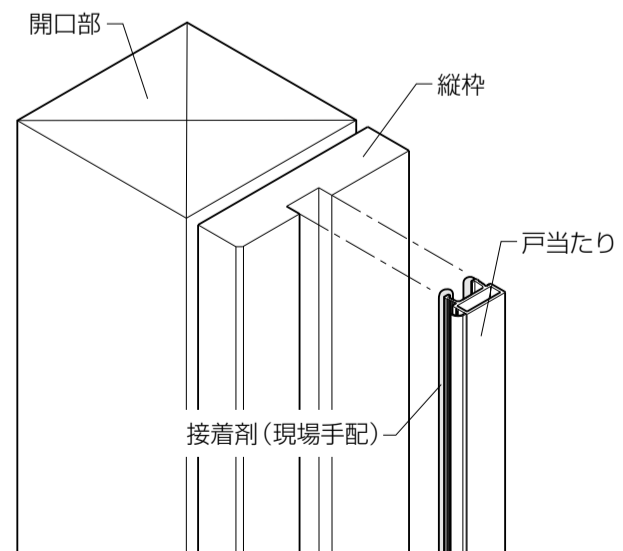
● 埋込下枠を縦枠下部ピースにはめ込み、縦枠室内側端部から3mmの位置にねじ止めし、溝ブタをはめ込みます。



- ⑨ 枠固定金具調整穴に穴かくしキャップを差込みます。



- ⑩ 戸当りに接着剤 (現場手配) を付けて溝をふさぎます。 ※ 戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。 ※ 戸当りの接着は、必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。



③ 本体の吊込み

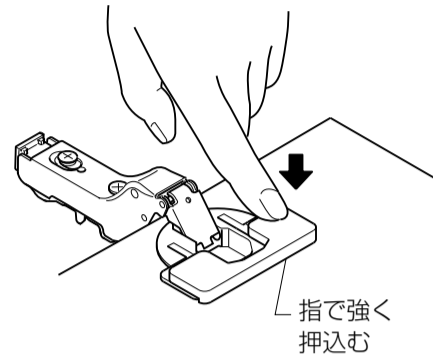
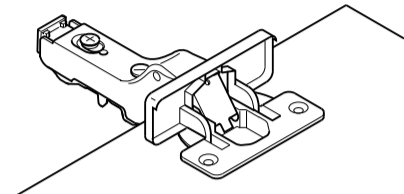
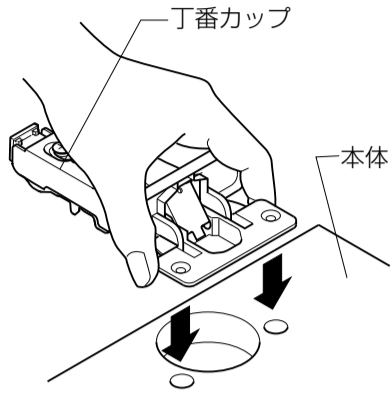
【WBB・WCBデザイン以外の場合】

① 本体に丁番カップを取付けます。

丁番カップのカバーを90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。

※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。

本体と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまで強く押し込んでください。

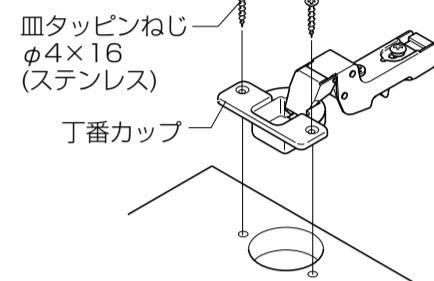


【WBB・WCBデザインの場合】

① 丁番を、同梱のねじで本体に取付けます。
※ねじが曲がらないように、必ず手回しで取付けてください。ねじが曲がると、本体が固定できなくなりますので、ご注意ください。

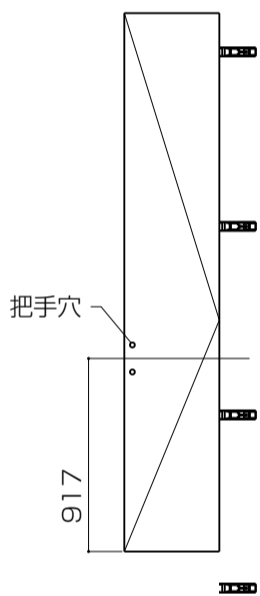
▲ 注意

● 丁番固定用のねじの締め忘れ・ゆるみ等は、本体の脱落の原因となります。必ずガタツキがないように固定してください。



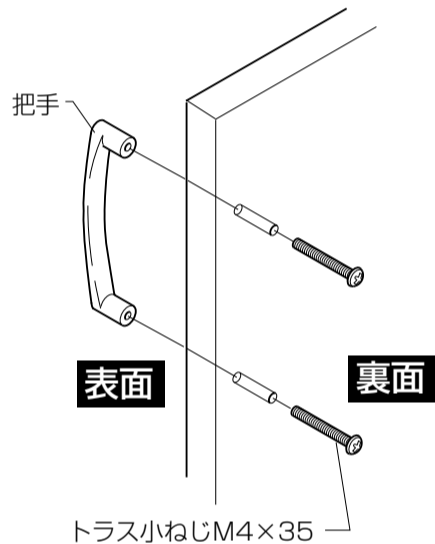
② 本体の左右勝手の確認

● 本体の下端より上下把手穴中心までの寸法が917mmになります。(H09は756mm)



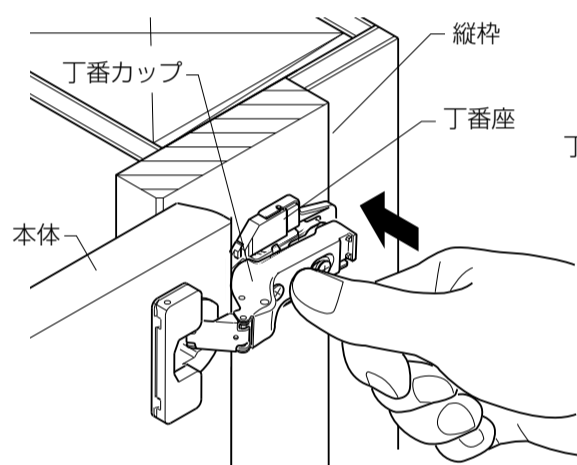
③ 把手の取付け

※ 把手セットは本体に同梱されています。

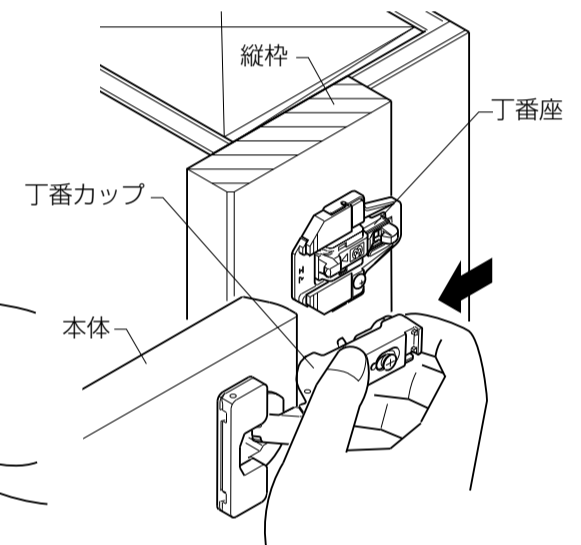


④ 本体の吊込み条件

● 本体の丁番カップを縦枠の丁番座にセットし、上から押込むだけで簡単にセットできます。



● 取外す場合は、先端のスイッチ(黒色)を押込むと外れます。



▲ 注意

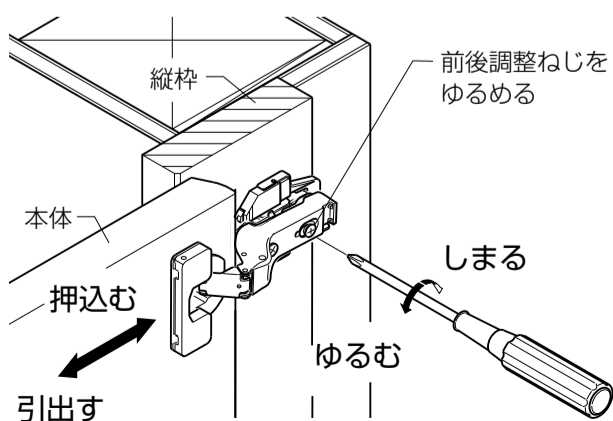
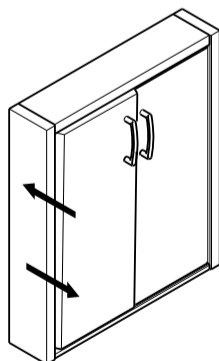
● 本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。

※0418(3枚吊り)、0420,0818,0820(4枚吊り)の場合、最初に中間の丁番を取付けてから、端部の丁番を取付けてください。
※本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。

④ 本体の建付け調整

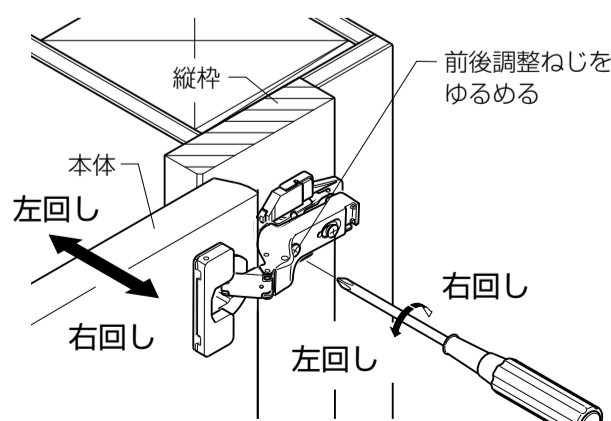
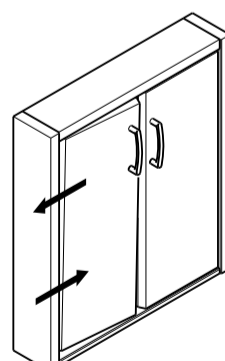
【本体の前後調整】

● 調整範囲
前方向4mm
後方向0mm
(合計4mm)



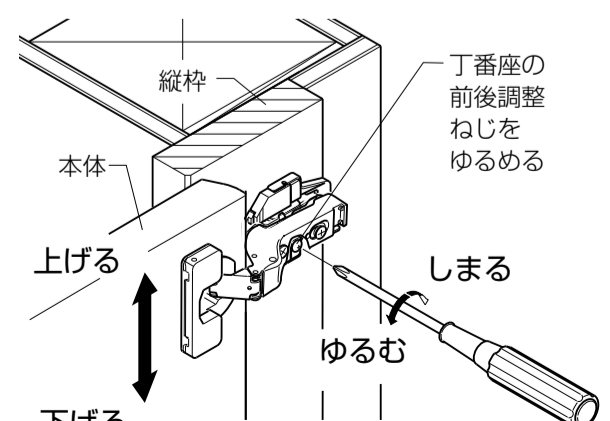
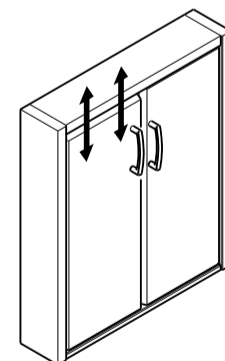
【本体の左右調整】

● 調整範囲
(合計±2mm)



【本体の上下調整】

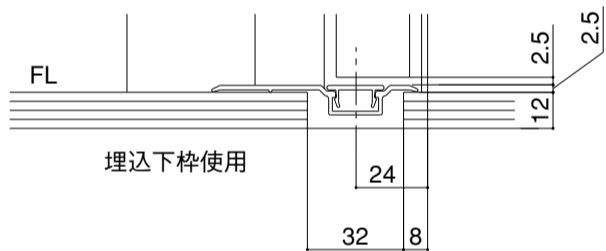
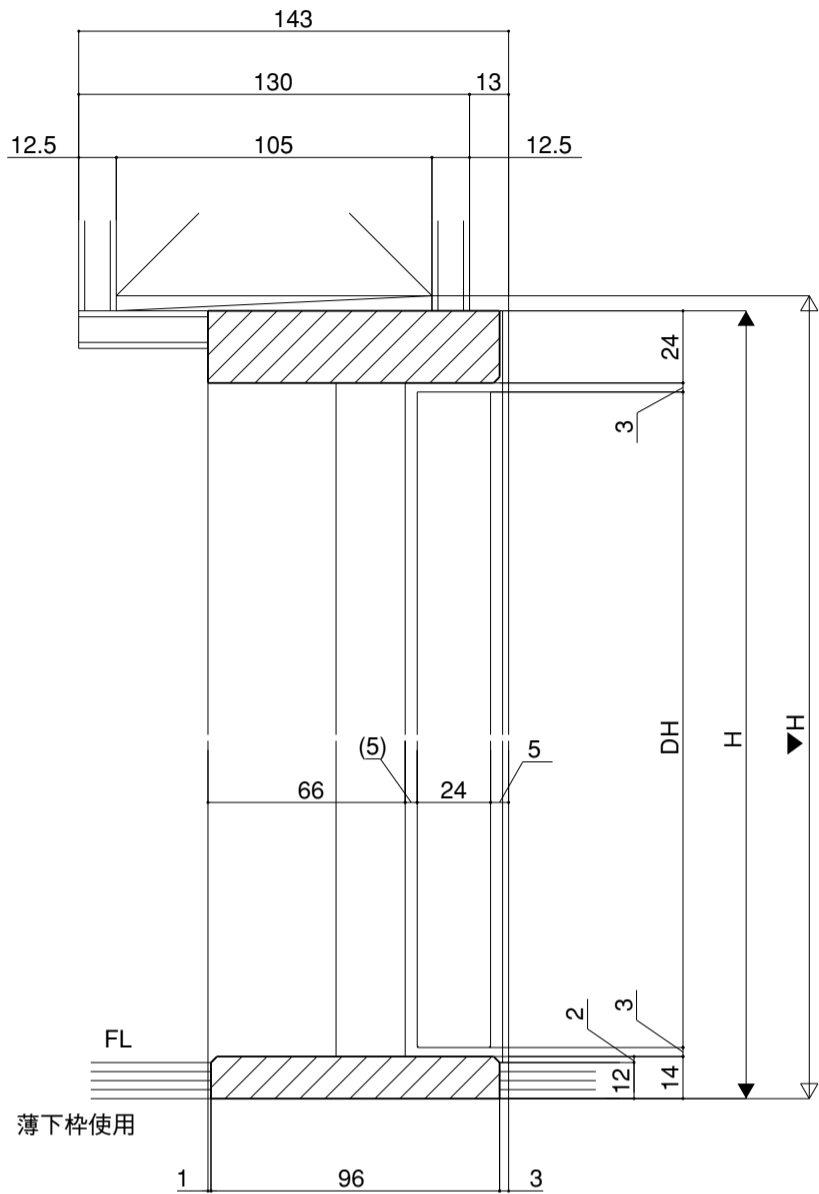
● 調整範囲
(合計±1.5mm)



■納まり図

■クローゼット開き戸ユニット(片開き) ノンケーシング

●縦断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法
W04 (437.5)	341
W08M (824)	728

■片開き戸

基本寸法 (mm)	W呼称	04	08M
	W(DW)	437.5 (385.5)	824 (772)
	H呼称	18	20
	H(DH)	1835 (1791)	2035 (1991)

●横断面図

